

TPP交渉から十勝を守り抜く緊急決議

我々、TPP問題を考える十勝管内関係団体連絡会議は、各行政機関・団体・地域住民との連携を図り、オール十勝でTPP交渉から十勝を守り抜く為に運動を行なってきた。

しかし、何も情報開示がないまま、6月にアメリカにおいてTPA法案が成立し、今まさにハワイでTPP閣僚会合が行われ、TPP交渉妥結に向けた条件交渉が行われており、極めて重大な局面を迎えている。

とくに十勝管内は基幹産業である農林水産業を中心として、運輸・流通などの関連産業と連携した取組みが盛んに進められ、雇用と暮らしを支えてきた。

こうした中で、TPPへの参加は、これまで十勝の先人の方々が、築き上げた地域振興の努力と逆行するものであり、経済に対する甚大な影響を与えるだけでなく、地域社会基盤そのものが崩壊してしまう懸念がある。

よって我々は、将来にわたって十勝地域の持続的発展が図られるよう、国民との約束である国会決議を踏まえ、毅然とした交渉姿勢を貫き通すことを強く求め、下記事項を決議する。

記

1. 十勝の将来に禍根を残さないよう、交渉に関する情報を開示するとともに、十分な国民的議論を行うこと。
2. TPP交渉においては、衆参両院の農林水産委員会における国会決議から逸脱するような譲歩や拙速な合意を行わないこと。

以上、決議する。

平成 27 年 7 月 28 日

TPP交渉から十勝を守り抜く 7.28 緊急集会